

一般社団法人鹿児島ハート倶楽部への想い



鹿児島大学病院 心臓血管内科 教授 大石 充

2018 年 4 月 2 日に一般社団法人鹿児島ハート倶楽部を立ち上げて、代表理事に就任しました。法人の主な活動に関しては法人 HP <https://www.k-heartclub.com/> をご参照ください。鹿児島の医療を支え発展していくためには、大学だけの活動では限界があると考えていました。大学とそれを支える機関が夫婦のように寄り添うことで、より効率的な活動ができると考えて鹿児島ハート倶楽部を設立しました。基本理念は、「鹿児島医療圏の医療、特に循環器診療の充実と若手医療人の育成、および同医療圏住民の健康増進・豊かな生活を確保・推進すること」としてあります。この考えのもと、主に下記 5 つの活動をしようと考えております。

1. 臨床・基礎研究支援

基幹病院でデータを収集する CRC を雇ってデータベースを作成して、これをオール鹿児島で統一化をし、鹿児島から世界へデータを発信する。

2. 垂水研究の推進

チーム医療（医学部、歯学部、薬剤師、理学療法、作業療法、管理栄養士、保険師、心理学など）として多方面から高齢者の方々を評価する高齢者コホート研究。

エンドポイントは心不全や認知症発症、ADL の改善（介護保険の減額）。

産学共同事業：オムロンヘルスケア：最新の家庭血圧計を無料配布するとともに、約 2 か月ごとに高血圧教室の予後改善効果の検証。

3. 病院と医師の架け橋

鹿児島ハート倶楽部が中心となる LINE を用いた医師互助集団：急に医師が勤務できなくなった時に、速やかに代替りの医師を探すシステムを運営。

4. 女性・若手医師のキャリア形成支援

結婚・妊娠・出産、という当たり前の生活を送りながら、医師としてのキャリアを積めるための様々な仕掛けを考えています。

5. 若手医師研究施設「はあと村」運営

はあと村という大学からほど近い里山と畑や古民家を改造した若手医師の研修や家族の触れ合いの場を管理・運営する

鹿児島ハート倶楽部は無限大の可能性を秘めていると考えており、この活動は善意の寄付で成り立っております。社団法人の HP に詳細を記載しておりますので、ご興味のある方は一度覗いていただけましたら幸いです。

症 例 提 示

平素より多くの患者様を鹿児島大学病院心臓血管内科へご紹介頂き感謝申し上げます。
今回は肺高血圧グループで診療を行いました2症例につきまして報告いたします。

「CTEPH (慢性肺動脈血栓性肺高血圧症) に対する BPA (バルーン肺動脈拡張術) の効果」

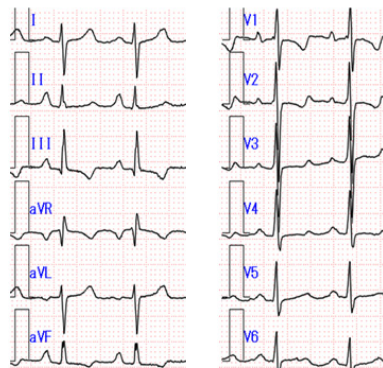
・ 平均肺動脈圧 50mmHg → 16mmHg ・ 心拍出量 2.96 L/min → 4.5 L/min ・ 在宅酸素療法離脱!!

【患者】 80歳 女性
 【主訴】 労作時息切れ
 【現病歴】 X-1年10月頃から労作時息切れを自覚し、徐々に増悪。
 X年9月には自宅の階段を2階まで上がるのも困難になり、家事に制限が強くなるようになっていた。
 X年10月に家族の強いすすめで長寿検診を受診。
 心電図異常を指摘され、近医で心エコーを実施、肺高血圧症を疑われ当科紹介となる。

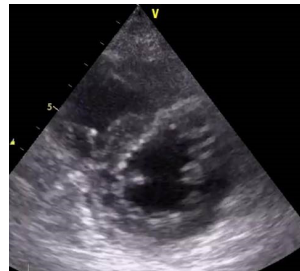
【来院時検査所見】



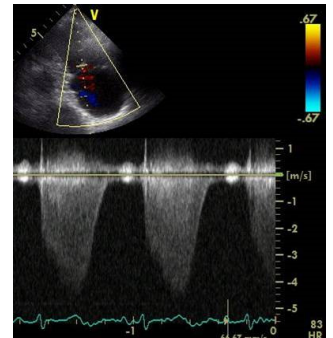
CTR 68%



洞調律, HR79/min, 右軸偏位
V1 R波増高



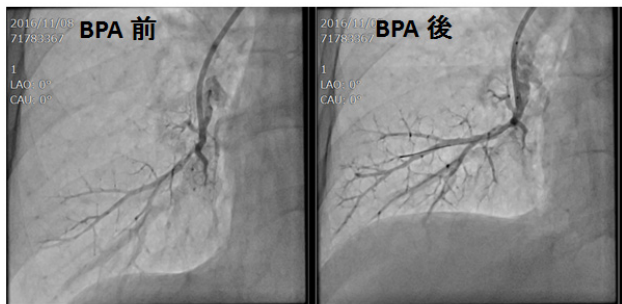
心室中隔の扁平化



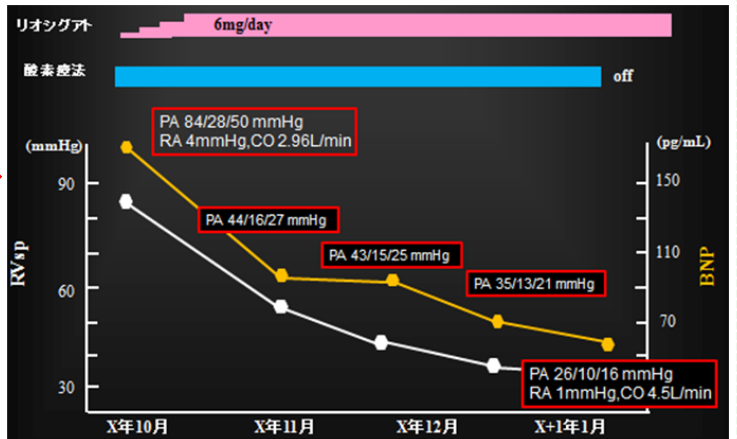
三尖弁逆流速度 4.4 m/sec
推定右室収縮期圧 87.4 mmHg

【入院後経過】 造影CT、肺血流シンチ、肺動脈造影所見から慢性血栓性肺高血圧症(CTEPH)と診断。

【治療経過】 計4回のBPAで平均肺動脈圧が正常化し、在宅酸素療法も終了。
 リオシグアトの内服を継続しながら自宅でADL自立した生活をおくっている。



肺動脈造影



臨床経過

鹿児島大学病院は全国でも数少ないBPA指導施設に指定されています。

【BPA指導施設】 (五十音順)

岡山医療センター・鹿児島大学病院・九州大学病院・杏林大学付属病院・慶應義塾大学病院・
 国立循環器病研究センター・東京大学医学部附属病院・東北大学病院・横浜市立大学附属病院

バルーン肺動脈形成術(BPA)は肺動脈内膜切除術(PEA)の適応にならない慢性肺動脈血栓性肺高血圧症(CTEPH)に対する画期的な治療法として開発され、2014年にはその適応と実施法に関するステートメントが日本循環器学会より公表されています。BPAのメリットを患者が享受するためには、肺高血圧症の管理に経験を持つ施設で技量に優れた術者が施行する必要があるということがステートメントで強調されています。

**肺高血圧専門外来（月曜）：ご紹介お待ちしております。
呼吸困難を訴える方の中に肺高血圧例が潜在しています。**

「門脈肺高血圧症の治療経過で心房中隔欠損症が判明した1例」

岩谷徳子, 宮永 直, 窪田佳代子, 大石 充.

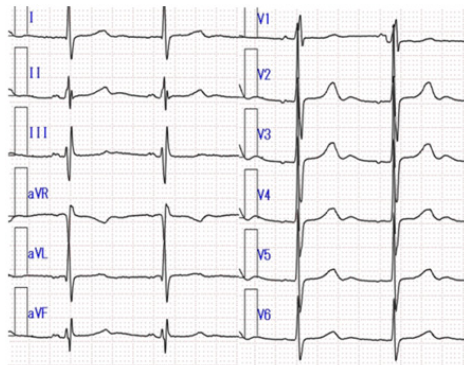
【患者】51歳 女性

【現病歴】X-2年より慢性B型肝炎による肝硬変・肝性脳症があり、前医で治療中であった。

X年5月肝機能評価のため前医へ入院した際に経胸壁心エコーで推定右室収縮期圧 (RVsp) 60 mmHg と肺高血圧症が疑われ、精査目的でX年6月当科へ転院となった。

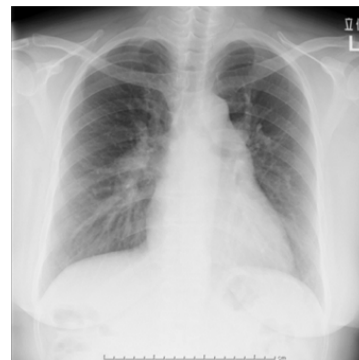
【入院時現症】PR 72 /min, BP 145/91 mmHg, BT 36.9°C, SpO₂ 97% (room), 眼瞼結膜貧血 (-), **眼球結膜黄染軽度**, 頸静脈怒張 (-), 心音: reg., I →, **II ↑**, III (-), IV (-), no murmur
腹部: 平坦・軟, 腸蠕動音→, 腹部血管雑音 (-), 肝腫大 (-)
四肢: 末梢血管触知良好, 末梢冷感 (-), 浮腫 (-)

【ECG】



SR, HR 65 /min, IRBBB,
II・III・aVF 2 峰性 P 波,
V2-5 U 波 (+)

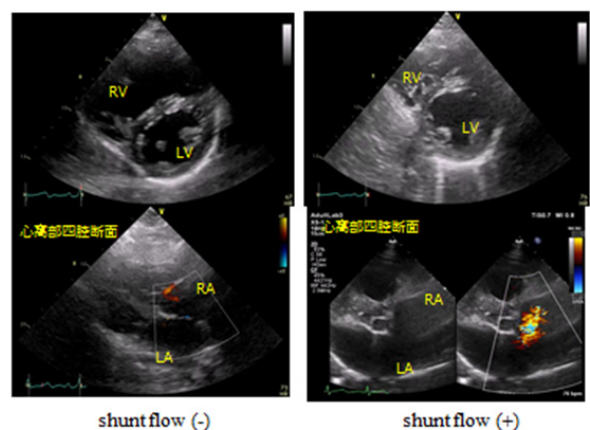
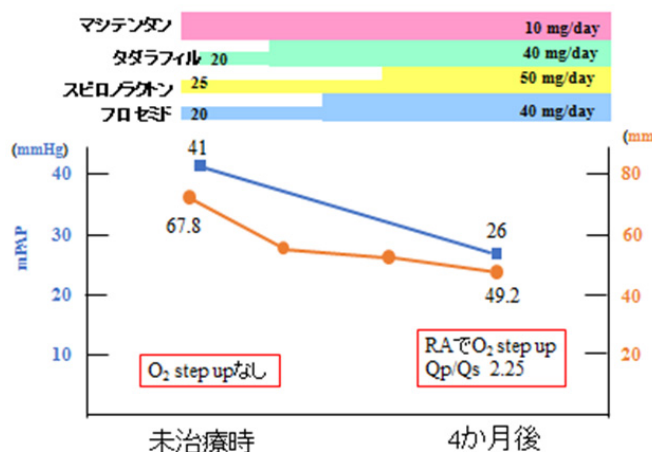
【胸部 X 線写真】



CTR 53%, CP angles sharp
左第 2・4 弓突出
肺動脈拡大

【経過】

- ・肺動脈性肺高血圧症 (門脈肺高血圧症) と診断し、マシテンタン、タダラフィルを順次導入した。
- ・4か月後の評価目的の入院時の経胸壁心エコーで心房レベルの shunt flow を認めたため改めてサンプリングを含めた評価を行った。
- ・平均肺動脈圧は 26mmHg へ低下していたが、右房で O₂ step up を認め、後日施行した経食道心エコーで心房中隔欠損症 (二次孔欠損) の診断となった。
- ・Qp/Qs 2.25、肺血管抵抗の上昇はなく、心房中隔欠損症 (ASD) 閉鎖術の適応と判断した。
- ・肝硬変があり、肝予備能の問題から人工心肺使用による開心術が困難であったため、X年11月AMPLAZER Septal Occluders による ASD 閉鎖術を施行した。



【考察】

- ・本症例は、初回のカテーテル検査では有意な短絡を認めず門脈肺高血圧症の診断で治療を開始した。肺血管拡張薬による治療により肺血流量が増加したことでその後シャント血流が顕在化したものと考えられた。
- ・肺高血圧症は平均肺動脈圧 25 mmHg 以上の疾患の総称であり、初回診断時には原因鑑別のための精査を行う。
- ・肺高血圧症の原因を複数有している場合があり、本症例のように治療経過中に新たな原因が明らかになる場合もあるため確定診断後も定期検査の際に注意してフォローする必要がある。

(2017年 第65回 日本心臓病学会学術集会での発表スライドより 改変引用)

心臓血管内科 外来担当表

外来医長：窪園琢郎 副外来医長：湯浅敏典

外来受付は完全予約制（午前のみ）初診・再診ともに曜日に関わらず診察いたします。

※専門外来のご案内：専門的な診察・治療をご希望の患者様のために、下記専門外来を設けています。

冠動脈疾患（月）、肺高血圧（月）、高血圧（水）、末梢血管疾患（月・水）、心筋症（金）、不整脈（月・水）、心不全（木・金）、成人先天性心疾患（火・水・木）

※術前精査のご依頼は、予約時にお伝えください。

※急変時など、状態が不安定で緊急に対応が必要な患者様の場合は、内科外来（099-275-5731）にお電話下さい。当番医が対応いたします。

	担当医	専 門	心エコー 外来	特殊検査	当番医
月	池田 奥井 内匠 窪田 樋口	高血圧・動脈硬化・末梢血管疾患専門外来 不整脈専門外来 冠動脈疾患専門外来 肺高血圧専門外来 心筋症	湯浅	心筋シンチ：山下/内門 CPX：窪園	樋口
火	大石教授 湯浅 嘉川 山下 毛利	教授外来・難治性高血圧 弁膜症・成人先天性心疾患専門外来 女性外来 循環器一般 循環器一般	堀添		湯浅
水	池田 市来 赤崎 堀添 窪田	高血圧・動脈硬化・末梢血管疾患専門外来 不整脈 高血圧専門外来 成人先天性心疾患専門外来 肺高血圧（再診）	濱元		池田
木	湯浅 池田 窪園 奥井	弁膜症・成人先天性心疾患専門外来 高血圧・動脈硬化 心不全専門外来 不整脈	堀添	心筋シンチ：佐々木 CPX:小島	窪園
金	大石教授 窪園 赤崎 樋口	教授外来・難治性高血圧 心臓リハビリ・心不全専門外来 高血圧・動脈硬化 心筋症専門外来	湯浅		赤崎

（平成30年10月現在）

< FAX 新患予約方法（8:30-17:00） >

『紹介患者予約申込書』に必要事項を記載し、FAXで予約の申し込みをお願いします。

◆ 医務課外来初診予約担当：FAX 099-275-6698
TEL 099-275-5168



『紹介患者予約申込書』は下記にてダウンロードできます。
（鹿児島大学病院ホームページ→「医療関係者の方へ」をクリック）
<http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/medical/shoukai.html>

< ホームページのご案内 >

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
心臓血管・高血圧内科学

<http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~intmed1/>

スマホサイトはこちら→

